

星田駅エレベーター 8月中旬から工事開始

JR星田駅のエレベーター設置工事が、いよいよ8月中旬から始まりです。

エレベーター設置とあわせて、多目的トイレの新設などバリアフリー化がすすめられます。

完成は、平成21年3月の予定です。

工事内容

- エレベーター（上り・下り）、
- 多目的トイレ新設、点字ブロック、点字案内板、2段手摺、
- LED情報提供表示機、音声誘導装置

京阪河内森駅 来年度エレベーター設置へ

京阪河内森駅は、平成14年3月策定の交通バリアフリー法に基づく「河内磐船駅、河内森駅周辺地区整備基本構想」の残事業となっており、エレベーター設置など早期のバリアフリー化が求められてきました。

このたび京阪電鉄より交野市に対し、「河内森駅のバリアフリー化

事業を平成21年度に実施

したい」との申し入れが

ありました。今後市と京阪電鉄が協議のうえ、来年度の事業化へと動き出します。



H19年度 交野市の財政指標 「早期健全化基準」「財政再生基準」に該当せず!

市は、18日に開催された「市議会全員協議会」にて、H19年度決算にもとづく「財政健全化判断比率（速報値）」（表参照）を公表しました。

昨年制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」にもとづき、H19年度決算から公表することが定められました。

以前は、「財政再生基準」だけでした。今回から、財政再生基準に至るまでの自主的に改善努力する「早期健全化基準」が定められました。

市は、「交野の財政は危機的な状況!」と繰り返ししてきましたが、今回発表の財政指標では、「早期健全化基準」にも「財政再生基準」にも該当していません。

財政危機を理由にした、公共料金値上げ、市民サービス切り下げは、道理がありません。



平成19年度 健全化判断比率（速報値） （全員協議会資料より）

将来負担比率	実質公債費比率	連結実質赤字比率	実質赤字比率	一般会計	早期健全化基準	財政再生基準	交野市
				行政運営の基本的な会計	自主的な改善努力による健全化 財政健全化計画の策定	国等の関与による再生 総務大臣に協議・同意 財政再生計画の策定	平成19年度 速報値
				特別会計 公共用地先取得事業特別会計	指標 11.25% ~ 15% (12.90%)	指標 20%	「- %」 ない
			資金不足比率	公営企業会計 下水道事業特別会計・ 水道事業会計	指標 20%		水道 0.0%・ 下水道 0.0%
				特別会計 国民健康保険特別会計・ 介護保険特別会計・老人保健特別会計	指標 16.25% ~ 20% (17.90%)	指標 30% 3年間経過措置 5~10%上乗せ	「- %」 ない
				一部事務組合 四條畷市交野市清掃施設組合 北河内4市リサイクル施設組合	指標 25%	指標 35%	14.7%
				地方三公社 交野市土地開発公社	指標 350%		330.4%

計画は議会の議決、個別外部監査義務付け・20年度決算から適用・19年度決算から公表